

北里大学病院を受診された患者さん・ご家族の方へ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (整理番号)	手術を施行した網膜剥離に関連する因子について解析する単施設後方視的研究 (B22-217)
当院の研究責任者 (所属・職位)	医学部眼科学 診療准教授 柳田智彦
他の研究機関および 各施設の研究責任者	該当なし
本研究の概要・背景・目的	網膜剥離の病態や手術結果に関する統計は現在まで、多数報告されています。しかし、網膜剥離の診断機器、治療や治療機器は、最近大きく発展進化しています。また、最近では、AI 機器の発達に伴い、画像による治療法の選択、予後診断なども研究されています。データの解析検討することは、病態解明、予後予測などに役立つと考えられます。そこで、当院での網膜剥離術後の患者さんのデータから、眼科的所見、背景因子、治療法、予後を解析します。
調査データ該当期間	2017年1月1日から2023年3月31日までの情報を調査対象とします。
対象となる患者さん	2017年1月1日から2022年9月30日までに当院にて網膜剥離の手術を施行した方
研究の方法 (使用する試料等)	2017年1月1日から2023年3月31日までの電子カルテに記載のある診療記録および検査データを利用します。具体的には、年齢、性別、現病歴、既往歴、手術日、視力、屈折値、角膜曲率半径、眼軸長、網膜剥離の所見、光干渉断層計の所見、血液学的検査値、手術関連因子、眼底写真になります。
試料・情報の 他の研究機関への 提供および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
利用又は提供を開始 する予定日	利用又は提供開始予定日： 研究機関の長の許可日から
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究の遂行のための費用は眼科学の研究費を使用します。本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。利益相反については北里大学利益相反委員会で審査され適切に管理されます。
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</p> <p style="text-align: right;">やなぎた ともひこ 北里大学医学部眼科学・准教授 柳田 智彦</p> <p>電話： 042-778-8464</p>

備考